

大牟田市立駛馬南小学校

1 本校のESDの特徴

本校では、“福祉”を中心に、地域の人とのつながりを大切にし、地域の方々の支援を受けながら、今の自分にできることを実践しようとする持続可能な社会の担い手を育成することを目標に掲げている。そして、この視点に立ち、地域の高齢者との交流を図り、共に支え合って生きていくことのすばらしさを感じ取り、見つけた課題に自ら取り組む体験活動を実現することを重点として取り組んでいる。特に、高学年では、一人暮らし高齢者宅を訪問するなどの交流を通して、その生き方に学んだり、認知症について調べて感じたことや考えたことをもとに、今の自分たちが地域のためにできることについて話し合い、実践・発信したりする活動を行っている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

テーマ；自分たちが住む町の人とのつながり、そして、自分たちにできること

1年生：むかしのあそびをたのしもう	(生活科 1月	6時間)
2年生：つたえあおう町のすてき	(生活科 1月	7時間)
3年生：駛馬南探検隊	(総合 4～7月	20時間)
エンジョイ！日本の伝統	(総合 11～12月	30時間)
4年生：諏訪川探検	(総合 4～10月	24時間)
私たちにできるボランティアⅠ	(総合 4～7月	16時間)
私たちにできるボランティアⅡ	(総合 10月	10時間)
5年生：一人暮らし高齢者訪問	(総合 4～9月	32時間)
6年生：認知症について知ろう	(総合 9～12月	26時間)

3 特徴的な活動事例

6年生 総合的な学習の時間「認知症について知ろう」の取組

(1) 目標

- 我が国の高齢化の現状や認知症について正しく知り、認知症の方への接し方などを意欲的に追究することができる。
- 駛馬南校区での先進的な社会福祉活動の様子を知り、これからの社会を支える一員としての意識を高めることができるようにする。

(2) 実際の展開

- ① 高齢者の増加に伴う認知症の現状や駛馬南校区の先進的な「見守り声かけ模擬訓練」の取組に関心を持たせる。
 - ・ 高齢者の増加や認知症について、大牟田市認知症ケア研究会の方々をGTにお招きし、認知症紙芝居やグループ討議を行い、関心を高める。
- ② 認知症の高齢者の方との接し方について、さまざまなケースでの接し方を考える。



- ・認知症の方への接し方をグループで話し合っ
て考え、模造紙に書く。
- ・書いたことをもとに、それぞれのグループの考
えを交流する。
- ・それぞれのグループの発表をもとに、G Tから
のアドバイスをもらう。



- ③ G Tからのアドバイスをもとに、さまざまなケ
ースでの接し方について考えたことを、自分
たちで考えた方法で表現する。
- ・模造紙や紙芝居、絵本に表現する。
 - ・考えたことを劇にし、映像に残す。(DVD作
成)
 - ・替え歌を作る。
- ④ 表現したものを、他学年や地域の方々に発
信する。
- ・児童集会で、他学年に取組について紹介す
る。(紙芝居や絵本は図書室に展示)
 - ・「認知症S O Sネットワーク模擬訓練全体連
絡会議」で、学習したことを劇にして発表す
る。
 - ・公民館に掲示してもらう。
 - ・学習発表会で他学年、保護者、地域に向け
て発表する。
- ⑤ 学習を通して、認知症の方々との関わり方
について考えたり実践したりしたことについて、
意見発表をする。



4 本年度の成果と課題

○成果

- ・地域の方々、社会福祉協議会の方々、公民館
の方々など、G Tとして多くの方々のご理解
とご協力をいただいたことで、体験的な活動
の充実を図り、地域や高齢者の方々との結
びつきを子どもたち自身が感じることができ
た。
- ・G T活用の際には、学習の目標(めざす子
どもの姿)・活動計画などをG Tと事前に入
念に打ち合わせることで、G Tの方々にも学
習内容を深く理解していただき、子どもた
ちの思いや気づきを大切にしながら学習を
進めることができた。
- ・駒馬南校区の課題を自分たちの課題とし
て捉え、学習して調べたり考えたりしたこ
とをもとに、自分たちにできることを実践
しようとする態度が見られた。
- ・自分たちが学習したことを発表・発信す
る場を設定したことで、自分たちの考えや
思いを伝えることの大切さと喜びを感じ
ることができた。

○課題

- ・本年度の実践をもとに、各学年の計画を
見直し、地域の「ひと」「もの」「こと」の
地域財産を大切に、地域とつながる教材開
発を行う必要がある。
- ・「福祉」学習においては、「体験」をもと
に、「理解」、そして「行動」というプロセス
を大切に、地域と自分がどう関わるか、地
域振興に向け、自分には何ができるのか
といったことについて、発達段階に応じた
目標・学習活動、そして、学年のつな
がりなどをさらに工夫し、来年度の計画
を立てる。